

新型コロナウイルスの感染メカニズムと予防について

一般財団法人あしなが育英会心のケア事業部プログラム感染対策ガイドラインから抜粋

1) 感染経路

感染経路は接触感染と飛沫感染とされています。

接触感染はウイルスの付着したものを触り、その指で口や鼻などを触った時に体内に侵入してくるものです。

飛沫感染は、くしゃみや咳などでウイルスが飛び感染するものです。大きな声を出したり、荒い呼吸でもウイルスが飛ぶことが確認されています。

空気感染はしないですが、飛沫によって一定時間、霧のように空気中に漂う「エアロゾル」の状態です。ウイルスが存在することも指摘されています。

2) 感染予防

①ウイルスを持ち込まない

プログラムの参加基準（下記の通り）を設けて、リスクのある人は参加しないようにしましょう。プログラム参加の際も入口で必ず手指消毒をし、「ウイルスを持ち込まないように徹底しましょう。

以下の全ての基準を満たすこと

- ①発熱（37.5℃）や呼吸器症状がないこと
- ②家族に発熱（37.5℃）や呼吸器症状のある人がいないこと
- ③過去 1 か月以内に海外渡航歴がないこと
- ④COVID-19 陽性者の濃厚接触者ではないこと
- ⑤外出自粛要請の出ている地域に在住していないこと

以上の基準を必ず満たした人は参加できます。

プログラム会場にいらした時に、明らかに咳がひどい方は帰ってもらう場合もあります。

②ウイルスを排除する

手で触れる場所は消毒して、ウイルスを除去してください。

エアロゾルを防止するために、密閉された空間は換気をまめに行いましょう。

一般財団法人あしなが育英会心のケア事業部プログラム感染対策ガイドライン

《 監修 》

高橋聡美氏

中央大学人文科学研究所客員研究員 元防衛医科大学校精神看護学教授